

## 令和5年度 学校経営方針

町田市立鶴川第四小学校  
校長 悴田 隆良

### 【教育目標】

- からだをきたえる子
- ◎よく考える子
- 思いやりのある子

### 【目指す学校像】

「子供たちが自分のよさを見つけ、自信と意欲をもって楽しく学んでいく学校」  
～子供、保護者・地域、教職員が喜びを感じることができる学校～

- ・子供たちが学ぶことに楽しさ、面白さを感じる学校にする。
- ・保護者や地域の方々に「もっと～してあげたい」と言ってもらえる学校にする。
- ・教職員がもてる力を十分に発揮し、学びの場をつくることにやりがいを感じる学校にする。

### 【目指す児童像】

- \*命を大切にし、心も身体も元気な子供
- \*自ら進んで学ぶ子供
- \*相手の気持ちがわかり、行動できる子供

### 【今年度の重点・努力目標】

#### ○確かな学力

<子供たちに「わかった」「できた」を味わわせる授業づくり>

- ・基礎基本の学習内容の確実な定着（校内研究教科…国語科）
- ・ICTを有効に活用した指導方法の工夫、改善（学びのための一つのツールとして使う）
- ・家庭学習による補充学習

#### ○豊かな心

<安全で安心できる落ち着いた学校生活づくり>

- ・特別の教科 道徳の充実
- ・異学年交流や特別支援学級、デイサービスとの交流を通した「思いやる心」の育成
- ・いじめを許さない環境といじめへの即対応
- ・「あいさつ」によるコミュニケーション

## ○健やかな体

### <運動、食事を大切にした健康づくり>

- ・外遊びの奨励
- ・体育科の指導の充実
- ・給食指導を中心にした食育の推進

## ○社会に開かれた教育課程

### <保護者&地域との協働体制づくり>

- ・ボランティアコーディネーターと連携した地域教育力の活用
- ・ホームページ、学校だより、学年だより、専科だよりでの情報発信
- ・学校、保護者、地域で連携を図る生活指導

## 【教育活動の具体的な方策】

### ○学校運営

- ・アレルギー対応 ⇒ 保護者との連携強化、未然防止のための組織的な対応の徹底
- ・環境美化の徹底 ⇒ 机上整理、使った物の後始末
- ・必要に応じた感染症防止対策 ⇒ 「つるよんスタイル」(見直しと徹底)

### ○学習指導

- ・基礎基本の学習内容の確実な定着 ⇒ 既習内容の反復、モジュールの有効活用
- ・ICT教育の推進 ⇒ 児童1人1台タブレット端末を有効に活用した学習活動の実践
- ・情報モラル教育の充実 ~ 継続的した学びとセーフティ教室(高学年)の実施

### ○生活指導

- ・教職員が手本となり、子供たちの意識向上へ ⇒ 「あいさつ」「時間を守る」
- ・24時間以内の問題解決姿勢 ⇒ 複数での対応、保護者への連絡
- ・不登校、不登校傾向の児童に対する対応と解決に向けた取り組み ⇒ 家庭への連絡の継続

### ○特別活動

- ・学級活動の充実~自分の思いや考えを伝えることができる学級づくり

## 『本校の特色』

### ○二学期制の教育課程

- ・前期(4月1日~10月6日)と後期(10月10日~3月31日)の二学期制
- ・長期休業日(夏休みと冬休み)を「既習の学習内容を学び直す期間」として位置付け
- ・長期休業日前に児童が学習と生活の状況を振り返り、今後の課題を明確にする時間を設定
- ・長期休業日前に個人面談を実施 ⇒ 学習や生活の課題を保護者に伝達



○始業前や放課後を活用した学習

- ・モジュールを活用した基礎学力を定着させる指導（主に国語と算数）
- ・放課後補習教室『鶴四サプリ』…基礎基本の内容を復習する（算数） 定員あり。希望制。

○「あいさつ」の励行

- ・あいさつ運動の実施（P T A活動&地域の協力）（児童会活動）

○特別支援教育の推進

- ・特別支援学級の校内交流活動

○オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校の取組

- ・「ボランティアマインド」「障がい者理解」「豊かな国際感覚」の視点からの教育活動

○鶴川第三小学校との連携

- ・2026年度に開校する新しい学校を見据えた教育活動の共有や教職員の交流活動

○近隣幼稚園、保育園との連携

- ・生活科の授業において園児と交流活動

○真光寺中学校との連携

- ・真中トライアル（部活動体験）、小中の教員交流会（授業参観）

○国士舘大学との連携

- ・学生による様々なボランティア（学習補助、体力テスト、運動会）
- ・留学生をゲストティーチャーに招いた国際理解学習の実施

「チーム鶴四」 <保護者、地域、学校と一緒に鶴四小の子供たちを育てる>